

大迫力! を体感

蓮ダムは1年を通じてダム見学の申込みを受け付けています。
ダム見学では、蓮ダムの4つの役割*のうち防災操作を中心に、
実際の設備を目の前にして説明。ダムの大きさや迫力も体感できます。
見学の様子は、二次元コードからアクセスして動画でもご覧ください。

※防災操作、水道用水の供給、流水の正常な機能維持、水力発電



03 ゲート室

放流操作のために開閉する「主放流設備」のゲートが見られるゲート室です。大きな油圧シリンダが目をつけます。このゲートは3つあり、放流できる水の量は、最大1,300m³/秒です。

chapter03
ゲート室



ダムの中は
11℃!



ダム見学ルート



04 見学台

再びダム堤体の外に出て、放流側にある見学台へ。ゲート室で見学した**主放流設備**、最大60m³/秒までの小規模な放流や雨が降り出してダムへの流入量が増え始めた時に使用する**副放流設備**、ダムが満水になる恐れがある場合などに使用する**非常用放流設備**、主に蓮発電所が点検等で停止している際に使用する**利水放流設備**の4つの放流設備が見えます。

chapter04
見学台



エレベーターで
ダム堤体内に
入ってきました。



02 堤体天端

蓮ダムの堤体の高さは78m、天端の幅は280mです。天端に立つと、上流側はダム湖が広がり、下流側は堤体を見下ろし高低差が感じられます。また下流側には、中部電力の蓮発電所も見えます。ダム湖の水は、3,260万m³、25mプール約9万3千個分の水を貯めることができます。

chapter02
堤体天端



これが高さ78m!
足がすくじかいます~

01 操作室

中央に大きなモニターが設置され、櫛田川流域のカメラ映像や、水位観測所・雨量観測所で計測されたデータが届き、流域の現在の様子を確認できます。

chapter01
操作室



まず管理所1階の見学室で、
映像でダムについて学びました。

今回ダム見学をする大学生の
ゆなです。さっそく行ってみたいと
思います!

START

見学をしてみても、ダムで
扱っている水の大きさを
実感しました。



見学のご案内

蓮ダムはダム見学を
通じて、ダムの役割や
放流についてお伝え
しています。

見学時間 ● 平日 9時～15時30分 (12時～13時を除く)
お問い合わせ ● 電話番号 / 0598-45-0371
〈受付時間 / 平日 9時～16時30分 (12時～13時を除く)〉

希望日の1週間前までにお電話にてお申込みください。

こう見るとほんとに
高いですねー!

あー!
カモシカ発見!